

面 談 記 録

担当課 福祉部 国保健康課

件 名	総合的病院に係る状況等について
日 時	平成 30 年 1 月 26 日（金） 15 時 00 分～15 時 35 分
場 所	医療法人社団葵会 東京本部 (東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー10 階)
相手方出席者	医療法人社団葵会 新谷理事長、明石第一企画部長
市側出席者	平井市長、須藤福祉部長、廣末国保健康課長
記 録 者	国保健康課 廣末 平成 30 年 1 月 29 日作成
面 談 内 容	<p>市長から県保健医療計画改定素案における基準病床数の状況等について説明。</p> <p>新谷理事長：病床がどうなるかというのが、私どもも不安に感じているが、今後も病院の実現に向けて努力する。</p> <p>市長：現時点で県が提案している基準病床数案(5,488床)となった場合には、29年1月末現在の既存病床数との差では131床の不足であるが、11月に病床割り当ての申請していただいても全部割り当てられる保証はない。県保健医療計画の2020年の中間見直し時も含め、少し長いスパンで段階的に病床の確保を行っていくこととなることが想定される。そうなると、当初から300床での開設は困難な状況であるが、葵会として病床数についてはどのように考えているか。</p> <p>新谷理事長：救急や小児科をやるとなると200床以上ないと厳しい。</p> <p>市長：地元医師会等から医師の確保ができないから、実現できるわけがないといわれるが、医師の確保についてはどうか。</p> <p>新谷理事長：医師の確保については特に心配していない。川崎のA O I 国際病院でも十分に医師は足りている。今から逗子の病院の医師を確保しておくというわけにはいかないが、開設時には揃えておくよう努める。私どもとして心配なのはやはりベッド数である。</p> <p>市長：承知した。こちらも全力で病院の実現に向けて取り組むので、今後ともご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>